

はくあ通信

SOPRA +

発行年月日：平成27年10月15日

住所：伊都郡かつらぎ町佐野793

電話番号：0736-26-7281

発行：NPO 法人よつ葉福祉会ソプラス

第11刊

みんなの「働く」・「暮らす」・「遊ぶ」を応援します！

企業応援団 ~File10~

かつらぎ町住民福祉課

(かつらぎ町丁ノ町2-160番地)

も応援にかけつけ、無事終了すべし
とができました。

ソプラスの活動にご協力をい
ただいている企業さんを紹介
する企画の「企業応援団」の第
10回。今回ご協力いただいた
のは、かつらぎ町役場・住民福
祉課です。

後日、住民福祉課の担当の方が実
習後の本人の様子を気にかけていた
だき、ご連絡をいただきました。少
しお時間を頂戴し振り返りの会議を
持たせていただきました。就職まで
のプロセスの中で今回の実習はじつ
だったか、負担をかけ過ぎずに成功
体験になったかを聞いていただきま
した。正に私たちが目的としている
職場実習の意図を理解していただき、
取り組んでいただいたことに感謝で
す。今後の就職活動に大きな経験と
なりました。大変ありがとうございました。

今回の実習内容は、地域住民に配布
するチラシ折り作業です。役場の職
員の方と同じ場所で作業をさせても
らい、本人も緊張感のある中で取り
組めました。単独の実習でお願いし
ていましたが、作業量が多く配慮を
していただき、急遽ソプラスから

は、職場体験や職場訓練を願
います。以前より担当者の方に
内建物清掃の仕事をいただいで
います。優先調達推進法による町

住民福祉課さんとは福祉サー
ビスの利用などについても連携さ
せていただいています。昨年度
より、優先調達推進法による町
内建物清掃の仕事をいただいで
います。以前より担当者の方に
内建物清掃の仕事をいただいで
います。以前より担当者の方に

は、職場体験や職場訓練を願
います。以前より担当者の方に
内建物清掃の仕事をいただいで
います。以前より担当者の方に

(七ヶ金子)

就労意欲向上プログラム 〈就労継続支援B型〉

就労継続支援B型の目的に、工賃向上があります。国の施策も改正されてきて「目標工賃達成指導員」という職種もあり、私はその職種に従事しています。名のとおり毎年目標工賃を定め、その目標を達成するための仕事です。B型事業の目的や従事している職種から、利用者の工賃を向上させていく取り組みは必須です。しかし、工賃を向上させることが目的になってはいけないと思っています。働きたいと思っている本人たちの福祉や支援の充実を目指していると、目標として工賃の向上があり得ますし、工賃向上は支援の目標や結果であっても、私たちの支援の目的ではありません。そういった前提を基に本人の「働く」ということを考えていかなければならないのではないのでしょうか。本人とすれば、より豊かな、満足度の高い人生を送ることが目的であり、それを達成するための手段としてB型や一般就労等の働きがあると考えています。そう考えるともう一度B型のあり方を考え直す必要が出てきました。

必ずしもB型にいる人が一般就労できないわけでもなく、一般就労を希望していないわけでもありません。もしかするとB型から一般就労へのシステムを伝えていない・提供していない私たちの責任なのかもしれません。そこで、B型を利用されている方に「働く」ということを広く考えていただけるように「就労意欲向上プログラム」を開始しました。

まず、B型やA型、就労移行支援の福祉サービスについて学習し、A型や一般就労で働く人の映像をDVDで確認しました。その後、皆さんからの感想や意見を基に話し合いをしました。「A型って興味がある」「一般就労してみたい」等の前向きな意見がある一方、「自分で通えないから無理」「大変そうなので難しい」等の意見もありました。そこで、どういうところが難しく大変そうなのかを出してもらい、こういう風に工夫すれば（こんな方法があれば）どうかということ再度投げかけてみました。すると、「そんなことできるん?」「至れり尽くせりや!」「それだったら私にもできるかも…」と意欲的な意見に変わってきました。諦めていたり、情報を提供しきれていなかったり、マイナスの方に思い込んでいたり。福祉の支援をしているつもりが実は本人たちにとって必要な働き方の情報を伝えていなかったことがわかりました。さらに、就職者の事例紹介や就職された当事者の方から「訓練と現状の違い」をお話しいただいたり、就労後に支えてくれる支援機関の学習をしました。こういった取り組みで7名の方が職場見学を希望され、ソプラスから就職された方の職場へ見学に伺いました。「大変そう」「難しそう」との意見もありましたが、職場の方から「初めから今の仕事のできたのではなく、1年間かけて今のレベルになってきました」とお話しいただき、少し不安は軽減されたようです。次のステップとして職場実習を予定しています。その中で5名の方が希望されており、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。現在進行中の取り組みではありますが、「働く」ことを通してのB型のあり方や私たちの情報提供のあり方を考えさせられました。ソプラスでもしっかり考えていきたいと思えます。

(池本)

余暇活動・エンジョイタイムの取り組み

ソプラスでは、2ヶ月に1回余暇活動・エンジョイタイムを行っています。

- 目的は…
- ・季節行事や体験・見学を通して楽しさを知り、自分の活動の範囲を広げる。
 - ・集団行動を通して社会や生活に必要なコミュニケーションスキルを身につける。

今年度は、利用者みなさんで考えた活動内容を実施しています。4月はバーベキュー、6月は食事と買い物、8月はプロ野球観戦、10月はテーブルマナー、12月は1泊旅行を予定しています。

このエンジョイタイムは、ソプラスのすべての事業の利用者が同じ活動をする数少ない取り組みです。日頃は目的や段階、目標が各々で違いがあり、みんなと一緒に活動することはほとんどありません。普段話さない方とのコミュニケーションの場にもなり、私たちとしても生活や余暇場面のアセスメントとして大変良い機会になっています。そして、自分に合った余暇の選択や休日の過ごし方のための良い体験になればと思います。

(野中)